

第1回 i T L シンポジウム

「人間の命は誰の手に委ねられるのか？」

——自動運転技術に見る「命の選択」というジレンマについて——」

## 提題 「道徳的ジレンマと道徳的直観」

2022年6月22日

矢島 壮平

中央大学国際情報学部（i T L）准教授

## 0. 今日の提題の内容

1. はじめに
2. 道徳的ジレンマと直観
3. 道徳的ジレンマの「正解」？
4. おわりに

# 1. はじめに

2. 道徳的ジレンマと直観

3. 道徳的ジレンマの「正解」？

4. おわりに

# 1. はじめに

この提題で論じるのは...

- ▶ トロリー問題に代表される**道徳的ジレンマ**は、**道徳的直観の対立**であること
- ▶ そして、道徳的直観の対立は**解決できない**こと
- ▶ それでも道徳的ジレンマに答えを与えたいなら、**対立する直観とはまた別の直観**が必要なこと
- ▶ しかし結局のところ、**「正解」はない**こと

1. はじめに

## 2. 道徳的ジレンマと直観

3. 道徳的ジレンマの「正解」？

4. おわりに

## 2. 道徳的ジレンマと直観

まず、トローリー問題（トロツコ問題）に代表される  
道徳的ジレンマとは...

「**直観の対立**」の問題

⇒なぜそう言えるのか、トローリー問題を例に見る。

## 2. 道徳的ジレンマと直観

**トローリー問題** (trolley problem) を最初に提示したのは...  
は...

イギリスの哲学者**フット**



Philippa Foot  
(1920-2010)

## 2. 道徳的ジレンマと直観

フットは論文でこう述べている (Foot 1967)。

「...彼は**暴走する路面電車** (a runaway tram) の運転士であり、彼にできるのは、それを**一方の細い線路から別の線路**へと進ませることだけだ。**5人の男たち**が**一方の線路上**で働いており、**1人の男**が**他方の線路上**で働いている。彼が進入する線路上の人はひき殺されてしまう。」



## 2. 道徳的ジレンマと直観

フットが提示したこの問題を「**トローリー問題**」と呼んだのが...

アメリカの哲学者**トムソン**



Judith Jarvis Thomson  
(1929-2020)

## 2. 道徳的ジレンマと直観

ちなみに...



左がトロリー（路面電車）、右がトロッコ。トロッコは英語のtruckが訛った和製英語であり、イギリス英語でtrolley、アメリカ英語でcartと呼ばれる。路面電車がイギリス英語でtram、アメリカ英語でtrolleyであることから、日本でtrolleyが誤訳されて「トロッコ」問題と呼ばれるようになったか？

## 2. 道徳的ジレンマと直観

トムソンはトローリー問題を次のように**再定式化**した (Thomson 1976)。

「フランクは路面電車 (a trolley) の乗客であり、その運転士はブレーキが故障したと叫び、ショックで死んでしまった。**前方の線路には5人**の人がいる。盛り土の斜面が急すぎて、電車が来る前に線路を離れることはできないだろう。線路には**右方向への分岐線**があり、フランクは電車をそちらに向けることができる。 ...

## 2. 道徳的ジレンマと直観

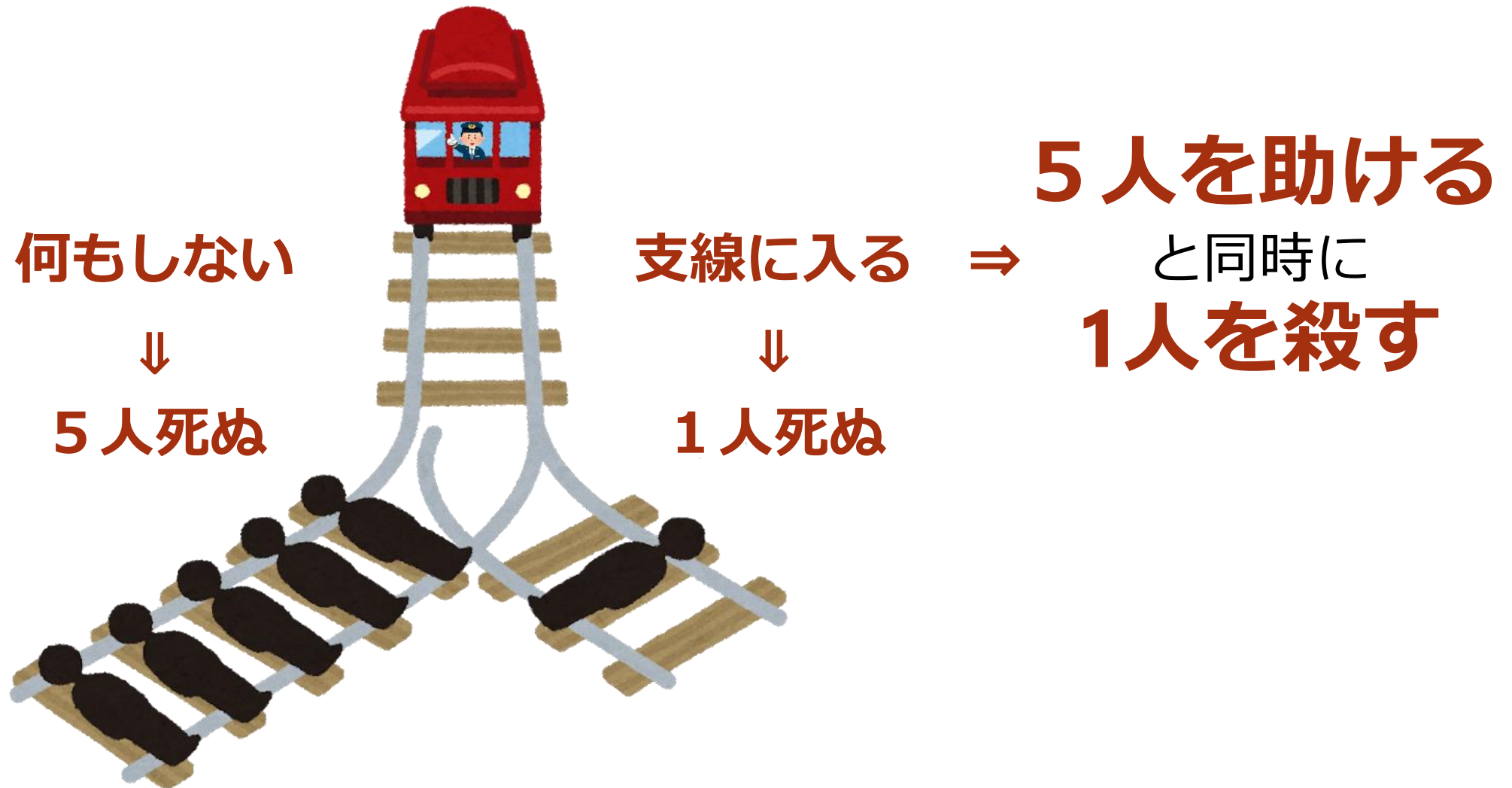
...不幸なことに、**右側の線路**には**1人**の人がいる。フランクは電車を方向転換させることができるが、**1人を殺す**ことになる。もしくは、電車の方向転換を控えることができるが、**5人を死なせる**ことになる。」

この再定式化が明確にしたのは...

**何もしない** ⇒ **5人死ぬ**

**支線に入る** ⇒ **1人死ぬ**

## 2. 道徳的ジレンマと直観



## 2. 道徳的ジレンマと直観

このときトローリー問題は、

1. 「5人を助けるのは**善い**」 という直観
2. 「1人を殺すのは**悪い**」 という直観

という**二つの道徳的直観**のうち、**どちらを優先させるか**という問題だと言える。

## 2. 道徳的ジレンマと直観

そして、こうした**直観の対立**は...

原理的に**解決不可能**

## 2. 道徳的ジレンマと直観

なぜなら...

直観は**無意識的**に生じるから

**無意識的に生じるものは私たちの意識と無関係に生じる**  
(意識的に食べなくてもおなかがすかないようにすることはできない!)。むしろそのように**解決しようがない**  
からこそ、**道徳的ジレンマは「ジレンマ」**である。



1. はじめに

2. 道徳的ジレンマと直観

3. 道徳的ジレンマの「正解」？

4. おわりに

### 3. 道徳的ジレンマの「正解」？

それでも...

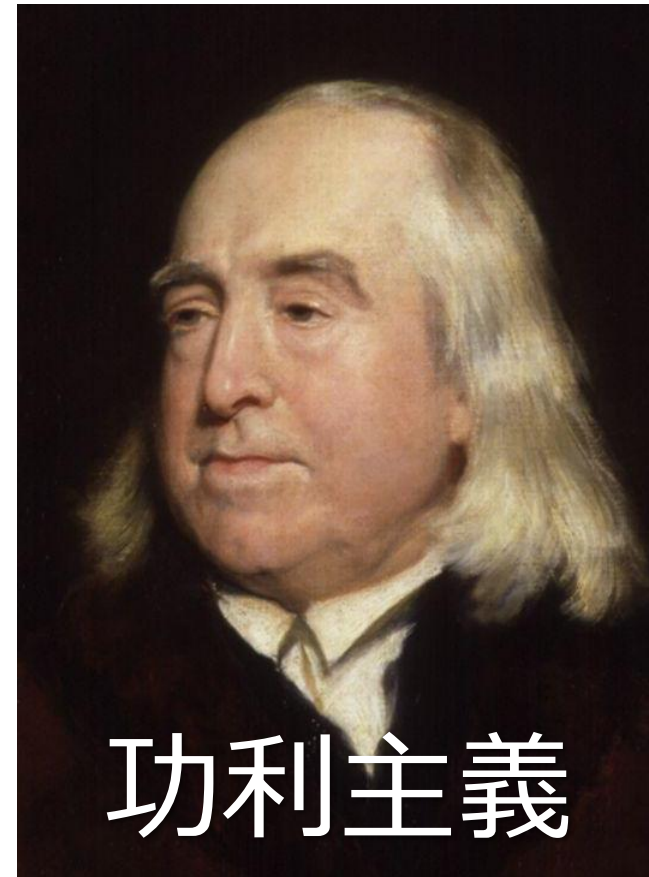
道徳的ジレンマに何らかの「**答え**」は**必要**

∵道徳的ジレンマは**現実**に生じうるので  
「**答え**」を**考えておく必要**がある

⇒では、**どうやって「答え」を出す？**

### 3. 道徳的ジレンマの「正解」？

こうした「答え」を出す理論として知られているのが...



### 3. 道徳的ジレンマの「正解」？

だがじつは、これらの理論も...

**直観**に基づいている

### 3. 道徳的ジレンマの「正解」？

カントであれば...

「**普遍化可能な意志**を原因とする行為は**善い**」

という**直観**

この**直観**に基づけば、**トローリー問題**は...

「**1人を殺さない**」が「**正解**」

∵人を殺す意志は普遍化できない

### 3. 道徳的ジレンマの「正解」？

ベンサムであれば...

「**快の最大化**を結果とする行為は**善い**」

という**直観**

この**直観**に基づけば、**トローリー問題**は...

「**5人を助ける**」が「**正解**」

∵1人の死より5人の死がもたらす苦痛のほうが大きい

### 3. 道徳的ジレンマの「正解」？

しかし、なぜ

**「5人を助けるのは善い」という直観**

よりも

**「普遍化可能な意志を原因とする行為は善い」という**

**カント的直観**

を**優先すべき**なのか？

### 3. 道徳的ジレンマの「正解」？

あるいは、なぜ

**「1人を殺すのは悪い」という直観**

よりも

**「快の最大化を結果とする行為は善い」という**

**ベンサム的直観**

を**優先すべき**なのか？



### 3. 道徳的ジレンマの「正解」？

こうした**直観の対立**を解決できるとすれば、それは**また別の直観**であるだろう。そしてそれはまた新たな**直観の対立**を生むことになり、議論は**堂々めぐり**になるだろう。

### 3. 道徳的ジレンマの「正解」？

このとき、「答え」を出すことができるのは...

私たち人間がどの直観を優先する**傾向にある**のか

だけだろう。だが...

これは**たんなる事実**であって、

**道徳的ジレンマの「正解」などではない**

1. はじめに
2. 道徳的ジレンマと直観
3. 道徳的ジレンマの「正解」？
4. おわりに

## 4. おわりに

この提題で論じたのは...

- ➡ トロリー問題に代表される**道徳的ジレンマ**は、**道徳的直観の対立**であること
- ➡ そして、道徳的直観の対立は**解決できない**こと
- ➡ それでも道徳的ジレンマに答えを与えたいなら、**対立する直観とはまた別の直観**が必要なこと
- ➡ しかし結局のところ、**「正解」はない**こと

## 参考文献

- Bentham, J. (1996). *An introduction to the principles of morals and legislation* (J. H. Burns, H. L. A. Hart, & F. Rosen (eds.)). Clarendon Press. 邦訳：ベンサム, J. (1967). 「道徳および立法の諸原理序説（抄訳）」 山下重一訳, 関嘉彦編『世界の名著 4 9 ベンサム J. S. ミル』（中央公論社）所収.
- Foot, P. (1967). The problem of abortion and the doctrine of the double effect. *Oxford Review*, 5, 5–15.
- Kant, I. (2016). *Grundlegung zur Metaphysik der Sitten* (B. Kraft & D. Schönecker (eds.)). Felix Meiner Verlag. 邦訳：カント, I. (2012). 『道徳形而上学の基礎づけ』 . 中山元訳. 光文社古典新訳文庫.
- Kant, I. (2003). *Kritik der praktischen Vernunft* (H. D. Brandt & H. F. Klemme (eds.)). Felix Meiner Verlag. 邦訳：カント, I. (2013). 『実践理性批判 1・2』 . 中山元訳. 光文社古典新訳文庫.
- Thomson, J. J. (1976). Killing, Letting Die, and the Trolley Problem. *The Monist*, 59(2), 204–217.



ご清聴ありがとうございました。